

I 課題をどう捉えればよいのか・課題を見出す観点・課題を見出す視点

**課題をどう捉えたらよいのか**：課題の連鎖（気候変動の問題）：課題が次から次へと連鎖するのは、新型コロナウイルスの影響にとどまらない。21世紀の課題の多くが、こうした負の連鎖で課題が増幅され、解決が難しくなっている。

自然災害もその一つである。近年、毎年のように大災害が日本を覆う。夏になると『数十年に一度』の豪雨が、場所を変え、時間を変えて、局所的に日本各地を襲い、災害の爪痕を残す。

豪雨だけにとどまらない。月間降雨量が極端に多くなったり、あるいは逆に極端に少なくなったり、という現象も、珍しいことではなくなってしまった。また、猛暑、酷暑で40℃を超える高温が記録されたかと思えば、冷夏が襲うこともある。『季節外れの暑さ』、『季節外れの寒さ』、という言葉も、頻りに耳にするようになった。

こうなると、農作物の栽培や収穫にも大きな影響が出る。農家には収入の上でも大きな打撃になるし、消費者にも価格の高騰として跳ね返ってくる。あるいは場合によっては、食糧が手に入らない、という事態さえ陥る。2017年にはポテトチップスの販売が一時休止された。前年の台風の影響で、北海道のジャガイモの収穫量が減少し、原料が調達できなくなったからである。農作物の産地が被災すると、それらを原料とする製品が製造できないといったかたちで、経済や社会に影響が出る。

**課題を見出す観点**

◇ 環境・経済・社会における構造

環境・経済・社会の問題の解決にあたっては、例えば、経済の問題だから、経済的視点のみの解決策の構築は課題が複合（複雑）化しており、もはや不可能である。環境・経済・社会の諸課題は深刻化だけでなく複合化しているため、環境面から対策を講ずることにより、経済・社会の課題解決にも貢献することや、経済面・社会面から対策を講ずることにより、環境の課題解決にも貢献することができるようにする必要がある。

**課題を見出す視点**

- 1 多様性：ダイバーシティ・多種多様、生物多様性、遺伝的多様性のほか、自然や文化の多様性、民間セクターの多様性、産業の多様化
- 2 相互性：相互に関連する、急速に影響し合って増幅する。
- 3 有限性：天然資源は無尽蔵にあるわけではない。つかう責任がある。
- 4 公平性：「すべての人々が～」（People・Prosperity）、一人ひとり大切に
- 5 連携性：Partnership、力を合わせて、産官学民等の連携、
- 6 責任性：つくる責任とつかう責任がある。

**実践例** ◇1～2年：「あんぜんな せいかつ」「きれいにさいてね わたしのはな」「きせつと なかよし」「まちが大きい たんけんたい」「わたしのまちの自まん」「えがおのひみつたんけんたい」「あしたへ つなぐ自分たんけん」「ちきゅうと仲よし」  
◇3～6年：「わたしたちのまち みんなのまち」「はたらく人とわたしたちの暮らし」「かわって来たひとびとの暮らし」、「くらしをまもる」「すみよいくらしをつくる」「郷土の発展に尽くす」「わたしたちの東京都」、「自然条件と人々の暮らし」「食糧生産」「工業生産」〈略〉、「暮らし（災害、福祉、税金）と政治」「歴史」「世界の中の日本」〈略〉、「生き物を調べよう」「1/2 成人式を開こう」「工夫しよう！かしこい生活」、「冬の快適エコ生活」「防災リーフレットをつくろう」

II SDGs17の目標(goal)と5Pの考え方！

**People(人間)**

- 目標1:あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困を終わらせる【貧困をなくそう】
- 目標2:飢餓を終わらせ、食糧の安定確保と栄養状態の改善を実現し、持続可能な農業を促進する【飢餓をゼロに】
- 目標3:あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確実にし、福祉を推進する【すべての人に健康と福祉を】
- 目標4:すべての人々に、誰もが受けられる公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する【質の高い教育をみんなに】
- 目標5:ジェンダー平等を達成し、すべての女性・少女のエンパワーメントを行う【ジェンダー平等を実現しよう】
- 目標6:すべての人々が水と衛生施設を利用できるようにし、持続可能な水・衛生管理を確実にする【安全な水とトイレを世界中に】

**Prosperity(繁栄)**

- 目標7:すべての人々が、手頃な価格で信頼性の高い持続可能な現代的なエネルギーを利用できるようにする【エネルギーをみんなにそしてクリーンに】
- 目標8:すべての人々にとって、持続的でだれも排除しない持続可能な経済成長、完全かつ生産的な雇用、働きがいのある人間らしい仕事(ディーセント・ワーク)を促進する【働きがいも 経済成長も】
- 目標9:レジリエントなインフラを構築し、だれもが参画できる持続可能な産業化を促進し、イノベーションを推進する【産業と技術革新の基盤をつくろう】
- 目標10:国内および各国間の不平等を減らす【人や国の不平等をなくそう】
- 目標11:都市や人間の居住地をだれも排除せず安全かつレジリエントで持続可能にする【住み続けられるまちづくり】

**Planet(地球)**

- 目標12:持続可能な消費・生産形態を確実にする【つくる責任つかう責任】
- 目標13:気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を実施する【気候変動に具体的な対策を】
- 目標14:持続可能な開発のために、海洋や海岸資源を保全し持続可能な形で利用する【海の豊かさを守ろう】
- 目標15:陸の生態系を保護・回復するとともに持続可能な利用を推進し、持続可能な森林管理を行い、砂漠化を食い止め、土地劣化を阻止・回復し、生物多様性の損失を止める【陸の豊かさを守ろう】

**Peace(平和)**

- 目標16:持続可能な開発のための平和でだれをも受け入れる社会を促進し、すべての人々が司法を利用できるようにし、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任がありだれも排除しないしくみを構築する【平和と公正をすべての人に】

**Partnership(パートナーシップ)**

- 目標17:実施手段を強化し、「持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップ」を活性化する【パートナーシップで目標を達成しよう】

5P:「『人間』の尊厳を守るといことは、人間の存在基盤としての『地球』を守るといことが大前提になる。その上ではじめて、人間と地球の『繁栄』が可能になる。しかし繁栄は、争いが起きると、あっという間に消え去ってしまうものである。持続可能な繁栄の前提になるものは、『平和』である。そして平和を持続的に実現していくためには、『パートナーシップ』を組むことが必要になる。一人や一つの組織、一国でできることには、限界があるし、そもそも地球全体への広がりや長期にわたって持続させることはできない。お互いを尊重し合いながらパートナーシップを組むことで、課題解決の可能性が広がっていくわけである。」

III 昭島市民科(SDGsの視点に立った学習)の目的と指導目標！

「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協調して問題解決を図り\*、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる人間の育成」を図っていく。( \* 主体性を発揮し、協働的に議論し納得解を生み出し解決を図っていく ) ( 持続可能な社会づくりの構成概念 )

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や社会・世界に関わる多様な事物・現象を多面的に捉え、問題を見いだすための知識や技能を身に付けている。【多様性】</li> <li>○ 多様な事物・現象を相互に関連付けて問題の解決方法を考えるための知識や技能を身に付けている。【相互性】</li> <li>○ 限りある資源等の中で、解決可能な計画を立てるための知識や技能を身に付けている。【有限性】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学びや経験から得たこと、友達の意見などを尊重し、それらを客観的に解釈して、自分の考えを形成する力を養う。【公平性】</li> <li>○ 他者との関わりを通して、自分の考えを深めたり広げたりする力を養う。【相互性】</li> <li>○ 限りある時間や資源を踏まえ、よりよい学びにするための方法を考え、実現していく力を養う。【有限性】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の学びを活かして、社会や人生をよりよくしていこうとする態度を養う。【公平性】</li> <li>○ 自分の役割や将来を見つめ、自ら進んで学習を振り返りながら、よりよい学びをしていこうとする態度を養う。【責任性】</li> <li>○ 順応したり、調和を図ったりすることの大切さを自覚し、支え合って課題に取り組もうとする態度を養う。【連携性】</li> </ul>

獲得させたい資質・能力

- ① 批判的思考力（自分の考えのプロセスを内省的に吟味・検討すること）〈批判〉
- ② 未来像を予測して計画を立てる力〈予測〉
- ③ 多面的・総合的に考える力〈多面〉
- ④ コミュニケーションを行う力〈伝達〉
- ⑤ 他者と協力する態度〈協力・協働〉
- ⑥ つながりを尊重する態度〈関連〉
- ⑦ 進んで参画する態度〈参画〉